

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語演習	2	第3学年	副教材：Watching NEWS

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・英語演習の授業は、幅広いテーマの英文理解を通じて、読解力、文法力、語彙力を始め、インプットからアウトプットを意識した「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力を身につける授業です。そのため、インプット（聞いたり読んだり）したことを基に情報や考えなどについてアウトプット（話したり書いたり）する言語活動を多く行います。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。また相手にきちんと伝えるためのファーストステップであるため、授業では重視します。
- ・言語活動の到達目標として、「音読・暗唱」「リスニング」内容に関する「即興の会話」などの実技テストを実施します。常に「英語を使う」ということを意識して積極的に活動に参加しましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第3学年】履修科目：「英語演習」（2単位）

主な教材：上記科目の教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
自分の意図や伝えたいことを既習の表現を使って2文以上で述べる ことができる。 例えば、挨拶・時間・値段など日常生活に必要な事柄などについて聞いたり、答えたりすることができる。	★インタビューテスト ★暗唱テスト	身近な話題について、基礎的な表現を用いて複数の文を書くことができる。	★ライティングテスト ★定期考査	既習の表現でゆっくり話された内容（時間、物の値段等）の日常的な事柄が理解でき、リピートすることができる。	★ディクテーション	既習の語彙や表現を使って書かれた短い物語・メール・招待状などを読み理解できる事、英語の内容を理解し音読することができる。	★音読テスト ★暗唱テスト ★定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	常に「英語を使う」ということを意識した言語活動を通じて、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語の運用のための知識を身に付けているとともに、グローバル化が進む世界の共通語としての英語の非母語話者として、英語の背景にある文化を理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
1 学期 ・文法確認 ・練習問題 筆記 ・リスニング (27 時間)	L1 Nomura Mansai, Challenger of Kyogen L2 Sixty-Year History Weekly Boy's Manga Magazines L3 Wheelchair Rugby L4 Elephants in Sri Lanka L5 Japanese Food or Western Food? ・文法確認 (①～③時制 ④比較⑤完了 形) ・リスニング (本文の内容)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら本文の音読・暗唱を始め、その内容についての感想や意見を述べる。	・ペアで音読・暗唱をする。 ・本文の内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら本文の音読・暗唱を始め、その内容についての感想や意見を述べようとしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・学習した文法事項を用いてオリジナルの英文を作る。 ・本文を相手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ・読んだ内容に基づき、自分の感想や意見を述べる。	・文法事項の学習後に、単語を変えるなど、コミュニケーションを想定してオリジナルの英文を作る。 ・ペアで相手に伝わるように音読や暗唱をする。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の感想や意見を述べる。	・学習した文法事項を用いてオリジナルの英文を作ることができる。 ・本文を相手に伝わるように音読や暗唱をすることができる。 ・読んだ内容に基づき、自分の感想や意見を述べることができる。	・授業時間を利用し、本文の音読・暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
2 学期 ・文法確認 ・練習問題 筆記 ・リスニング (27 時間)	L6 Honjo Won the Nobel Prize Exhibitions L7 The New Era Name, “Reiwa” L8 The Giant's Causeway L9 Amazing Dogs L10 Japanese Teacher ・文法確認 (⑥⑦助動詞 ⑧分詞、⑨⑩不定詞) ・リスニング (内容に関する)	・本文の内容を理解する。 ・その英文を音声で聞きとる。	・分からない語句に遭遇しても、前後関係から推測しながら内容理解をする。	・ディクテーションとして本文の一部を書き取る。 ・本文の内容を理解することができる。 ・その英文を音声で聞き取っている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・文法チェック①～⑤とその使い方を理解する。 ・自分の感想や意見を伝える表現 (I think ～、Because ～、That's why ～など) の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・文法チェック①～⑤とその使い方を理解している。 ・自分の感想や意見を伝える表現 (I think ～、Because ～、That's why ～など) の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら内容についての感想や意見簡単な英文を用いて述べる。	・ペアで音読・暗唱をする。 ・内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら内容の音読・暗唱を始め、その内容についての感想や意見を述べようとしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・学習した文法事項を用いてオリジナルの英文を作る。 ・作った英文を相手に伝わるように音読や暗唱をする。 ・読んだ内容に基づき、自分の感想や意見を簡単な英文を用いて述べる。	・文法事項の学習後に、オリジナルの英文を作る。 ・ペアで相手に伝わるように音読や暗唱をする。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の感想や意見を述べる。	・学習した文法事項を用いてオリジナルの英文を作ることができる。 ・内容を相手に伝わるように音読や暗唱をすることができる。 ・読んだ内容に基づき、自分の感想や意見を簡単な英文で述べるることができる。	・授業時間を利用して内容の音読・暗唱テストを実施する。

		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を理解する。 その英文を音声で聞きとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分からない語句に遭遇しても、前後関係から推測しながら内容理解をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ディクテーションとして本文の一部を書き取る。 本文の内容を理解することができる。 その英文を音声で聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文読解及び英文の構成を理解する。 長文中のキーワードが何であるのかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 長文読解をし、英文の構成を理解している。 長文中のキーワードが何であるのかを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
3 学期 ・文法確認 ・練習問題 筆記 ・リスニング (16 時間)	L11 Is the Future Cashless? L12 Studying Snow and Ice L13 Tug-of-War Traditional in Okinawa L14 Reducing Plastic Waste ・文法確認 (⑪～⑬不定詞 ⑭ 動名詞、様々な助動詞)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら内容についての感想や意見簡単な英文を用いて述べる 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで音読・暗唱をする。 内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら内容の音読・暗唱を始め、その内容についての感想や意見を述べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 学習した文法事項を用いてオリジナルの英文を作る。 作った英文を相手に伝わるように音読や暗唱をする。 読んだ内容に基づき、自分の感想や意見を簡単な英文を用いて述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文法事項の学習後に、オリジナルの英文を作る。 ペアで相手に伝わるように音読や暗唱をする。 ペアで、メモに基づいて、自分の感想や意見を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した文法事項を用いてオリジナルの英文を作ることができる。 内容を相手に伝わるように音読や暗唱をすることができる。 読んだ内容に基づき、自分の感想や意見を簡単な英文で述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時間を利用して内容の音読・暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を理解する。 その英文を音声で聞きとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分からない語句に遭遇しても、前後関係から推測しながら内容理解をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ディクテーションとして本文の一部を書き取る。 本文の内容を理解することができる。 その英文を音声で聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> 文法チェック⑪～⑭とその使い方を理解する。 自分の意見を伝える表現を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文法チェック⑪～⑭とその使い方を理解している。 自分の意見を伝える表現を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。